

府立枚方なぎさ高等学校の取組み

(1) 学校教育目標(めざす生徒像)

生涯にわたり学習する基盤を培い、自らの個性を生かしながら主体的に課題を解決できる力を育む教育を実践する学校をめざす。

- 急速に変化する社会に対応できる確かな学力を育成し、思考力・判断力・表現力を高める機会を与えることで、個性を伸ばす教育の充実を図る。
- 自ら将来の夢と志を描き、自己の可能性を伸ばすとともに、自らの力で進路を実現し、地域や社会に貢献できる人間の育成をめざす。
- 生徒が安全で安心して高校生活を送れるよう、それぞれの思いや環境・状況の違いを理解し、自他の生命や権利を大切にす意識の醸成に努める。

(2) 主な取組みと組織体制の準備

- テーマ…「主体的・継続的に学ぶ力を身に付けさせる」

		パッケージ研修支援Ⅰ	授業公開月間の改善	校内研修会
主な取組み	平成30年度の	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の方向性について全体共有 ・生徒に付けたい力を協議、共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業目標の明確化 ・他教科の授業見学を促進 ・授業観察シートの改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器の使用についての校内研修 ・探究活動やグループワークを取り入れた授業を集約し、共有
	体制	校内研修主导者が中心となった授業力向上委員会を構成	授業力向上委員会で方向性や課題を決定し、全体に共有	授業力向上委員会が中心となり、研修の企画、運営を行う

※「授業力向上委員会」は委員長1名、首席1名、自立支援コース主导者1名、各教科から1名

(3) 主な実践とその工夫

① チームで始める「授業改善」

枚方なぎさ高校には、これまで授業改善に関わる組織がありませんでした。パッケージ研修支援を受けるにあたり、学校全体として授業力向上に本気で取り組む意思を校内に示すために、平成30年度より「授業力向上委員会」が組織されました。経験年数や教科などバランスよくメンバーを構成し、様々な視点から意見が交わされるよう工夫しました。また委員会の立ち上げと同時に年間の校内研修計画も作成し、早い段階で教員全体に提示を行いました。1年間の取組みの見通しが立てやすくなり、委員会の運営の流れも明確になると考えたからです。会議は1カ月半に1度のペースで行い、主にパッケージ研修や校内研修、授業に関する企画の立ち上げに関する内容を取り上げています。

② リーダーが支える「授業改善」

研修主导者は授業力向上委員会の中でも中心的な存在です。会議の際は、研修主导者が予め問題点や審議してもらいたい内容を整理した上で話し合いを重ねることで、「どのようなことをするのか」ではなく、「どのように取り組むか」といった建設的な議論が可能となり、会議の時間の短縮化にもつな

がりました。また 11 月に行われた研究授業では、当日参加できなかった教員のために授業の様子をビデオ撮影し、全員が閲覧可能な PC へ保存するだけでなく、授業のポイントを 10 分間に編集したダイジェスト版を作成しました。

また、リーダーは積極的に多くの先生とコミュニケーションをとり、授業改善や研修に全員で取り組む雰囲気づくりを心掛けています。こうした地道な取り組みも、校内研修へ多くの教員が参加する一つの要因です。

リーダーは委員会の長として、研修企画者として会議や研修で決めた方向性や課題について自らも率先して自身の授業に導入しています。自身のそうした姿勢を学校全体に示す意味は大きいと考え、常に学校全体に還元できるよう心掛けています。

③ 環境の変化がもたらす「授業改善」

平成 30 年度にホームルーム教室に電子黒板機能付きプロジェクターが導入されました。教室環境の整備や変化も授業改善をさらに促進する一つの要因となります。

授業力向上委員会はこの機会を見逃しませんでした。さっそく ICT 機器を活用した授業の勉強会を企画しました。10 月の導入時から計 3 回研修を実施し、毎回数十名の教員が参加しています。機器や教室の使い方やアプリケーションなど、教員が気になることを中心にテーマを設定し、勉強会を開いています。もちろん参加できなかった先生に向けて、報告書を作成し、教員全体に周知を図っています。



ICT 勉強会のチラシ

またこれまで行っていた授業公開月間においても、見直しました。1 学期の校内研修で話し合われた「生徒に付きたい力」の育成につながる質問項目を考えて授業観察シートを作成し、授業を行うポイント、見るポイントが明確になるようにしました。

自教科だけではなく、他教科の授業にも意識が広がるように、「グループワークを実施している授業」や「探究的な活動をしている授業」、「授業の振り返りを実施している授業」など公開授業の特徴や見どころをテーマ別で集約し、職員室に掲示、個々の教員のニーズに対応して授業見学してもらえるようにしました。

このような取り組みを続けた結果、職員室で教員同士が自分の授業内容や生徒の様子などについて話す機会が増え、互いに気付きや振り返りがなされるようになりました。

枚方なぎさ高校 授業観察シート

月 日		時限目	見学者
授業担当者	先生	見学された授業	
内容	項目	状況	コメント
学習環境	① 服装、机上の整理等、学習に向かう環境が整っている		
	② 生徒の理解や反応に応じて柔軟な対応を行っている。		
先生の取り組み	③ 学習状況を踏まえ、学習手順を明確に示している。		
	④ 目標の達成につながる発問、問いかけ計画している。		
生徒の取り組み	⑤ 生徒の活動のよさを肯定的に評価している。		
	⑥ 生徒は授業に積極的に参加し、達成感や満足感を味わっている。		
【自由記述欄】			

平成 30 年度に改訂された授業観察シート

授業公開月間の際に行った授業改善アンケートにも教員の意識の変化が表れています。

授業改善アンケート(項目抜粋)

- 授業見学後の感想⇒「自分も授業を見直す機会になった」「刺激になった」84%
- 観察シートでの授業の振り返りの効果⇒「効果があった」82%